



編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア／日置雅夫・岩下茂子

さん・さんベーカリーでおいしいパンを 障がい者が社会性を身に付ける

JR木曾川駅の前にさん・さん木曾川があります。この施設は、平成25年5月に開設した障がい者のための就労移行支援事業所で、高校を卒業した若者が働く技能を身に着けるために毎日働いています。指導員は8名、利用者は1日当たり10名です。また、この施設では、放課後等デイサービスも実施しており、障がいのある中学生や高校生10名も施設を利用しています。

この施設では、就労支援の一環として、パンを作り、一般市民に販売することに力を入れています。具材には、自前の畑で作ったハーブを活用しています。そして、働くうえで大切なチームワークの精神を養うため、指導員は率先して会話することに努めています。また、就労のための資格取得にも力を入れています。

さん・さん木曾川の責任者である角田さんにお聞きしました。

「毎日、みんな楽しく笑顔で働いています。ぜひお立寄りください。」

また、この施設を運営している、NPO法人ふれあいサロンさん・さんガーデン理事長の井浪典子さんにお聞きしました。

「パン製造を通じて、障がい者の就労訓練をお手伝いしております。一生懸命作ったパンをお買い求めください!」

障がい者が地域社会の中で働くことはなかなか難しいのが現実です。しかし、多くの関係者の努力により、少しずつ改善してきています。そして、地域社会の住民の理解と協力も欠かせないことです。



私たちが手作りしたパンです

絵画・書道・陶芸展を見学して

毎年恒例になりました、尾西身体障害者福祉会に加入されている皆さんが、1年の歳月をかけて作られた力作が尾西歴史民俗資料館にて展示されました。多くの市民の皆さんもご来館され、ハンディに負けない素晴らしい作品群を見て感動している様子でした。



9回目の
開催!!

身体のハンディも
なんのその!!
皆さん素晴らしい書体です



手編みのセーター
暖かそうでしたよ

今年9回目を迎えますますます皆さんの作品に磨きがかかり、このイベントが夏の風物詩になっていくのではないかと感じます。今後も皆様がずっとお元気に続けられることを願っています。かくいう私もみなさんの作品を見て、感嘆するとともに勇気をいただきました。